

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	簡易・高速プロセスによるソフト電池の創製と、構造変化の可逆化による容量革新
研究代表者	野田 優（早稲田大学・理工学術院・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究では、カーボンナノチューブ（CNT）によるリチウム電池の軽量化を目指すものである。金属蒸着膜や CNT を用いた3次元集電体の開発により活物質量の最大化、変形可逆化を実現しようという独創的な研究であり、国際的に世界最先端の研究成果を発表している。柔軟なスポンジ電極を積層することにより全体で安定性を保つソフト電池の開発は、リチウム蓄電池の軽量化を革新的に進化させるものとして大いに期待できる。本研究は、独自の視点でナノ構造体を用いた蓄電池の改良を行うものであり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>